

国家戦略特区（アベノミクス戦略特区）
に対する要望書

平成25年5月16日

福岡経済同友会

国家戦略特区（アベノミクス戦略特区）に対する要望書

平成 25 年 5 月 16 日

福岡経済同友会

1. 国家戦略特区の実現を

政府の産業競争力会議において、成長戦略の柱の 1 つとして三大都市圏を中心に「国家戦略特区」（アベノミクス戦略特区）の導入が議論されている。国家戦略特区は、これまでとは次元の違う特区を目指すと言われており、大胆な規制改革・税制措置により、世界で一番ビジネスのしやすい環境をつくることを目標としている。

我が国においては、様々な規制や割高な法人税等が障害となり、国内投資を停滞させるとともに、外国企業の進出を阻んできた。このような状況を打破するために、政府が進めようとしている戦略特区政策を強力に推進することは、我が国経済の活性化にとって、極めて有効であると考えられる。

2. 福岡の国家戦略特区指定でアジアの活力を導入

福岡は、成長著しい東アジアに近く、アジアを中心に世界を結ぶ海・空のネットワークが発達している。我が国の成長にはアジアの活力を取り込むことが重要であり、福岡は我が国で最も地理的優位性を発揮できる地域である。

また、福岡は福岡市・北九州市という 2 つの政令市を抱え、三大都市圏に次ぐ人口集積を誇っている。とりわけ福岡市は大学学生数が全国の都市で 5 番目に多く、高度な人材や外国人留学生の確保が容易な都市でもある。ホテルやコンベンション施設をはじめとする都市機能も充実しているため、福岡市の国際会議開催件数は 2009 年から 3 年連続で全国 2 位となっている。今後、空港・港湾の拡充、展示施設等の整備等を進めることにより、国際会議にとどまらない多様な MICE（Meeting, Incentive, Convention, Exhibition）の招致を飛躍的に伸ばすことができると考えられる。

加えて、福岡では北九州市を中心にものづくりの高度な技術・産業が集積している。なかでも公害防止技術や世界最先端の水素研究などの環境技術・産業の集積は、環境問題が深刻化しているアジアをはじめとした海外市場の開拓につながると期待される。福岡の「グリーンアジア国際戦略総合特区」は、国際戦略総合特区のなかでも最大の投資額を誇っており、福岡の環境産業の高い成長ポテンシャルを示している。

以上のような優位性をもつ福岡において、さらなる大胆な規制改革や税制・財政措置が実現すれば、福岡は飛躍的な発展が期待され、西南日本の成長の極として我が国の経済発展に大きく貢献できるものと考えられる。

については、三大都市圏に加えて福岡が国家戦略特区の指定を受けることを強く要望する。

(参考)

福岡における具体的な規制改革、税制・財政措置の項目例

- 水素エネルギーの研究開発・製造・普及の促進
- アジアとのシームレスな物流の実現
- 外国からの高度人材の受入
- 福岡空港の早期拡充
- 福岡都心の高度土地利用

以上